YWVOB会 会報 No.49

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

http://ywvob.com/ 2011年12月30日発行

～ ４９号の目次 ～

・YWVOB 会長ご挨拶・・・・・・・・・・・・・1
・2012 年度 OB 総会報告・・・・・・・・・・・2
・OB 役員会へのアンケート結果報告・・・・・9
・第 4 回 OB 会役員会報告・・・・・・・・・・10
・第 32 回 OB 山行（西沢渓谷）報告・・・・・11
・2012 年度 OB 山行の予定・・・・・・・・・・12
・第 33 回 OB 山行（三頭山）の案内・・・・・12
・YWV 現役部員の活動紹介・・・・・・・・・・13
・第 23 回シニアの集い報告 ・・・・・・・・・15
・苗名小屋便り・・・・・・・・・・・・・・・・18
　秋の小屋行事報告/今後（2012 年）の予定
・編集委員からのお知らせ・・・・・・・・・・19

■ YWVOB会長ご挨拶

会長　鈴木（9 期）

2011 年は、東日本大震災やタイでの洪水など自然の脅威を感じ、ギリシャ財政破綻に関連した円高など人類の諸活動での弱さを感じ取った年でした。「今年こそは、世界が、日本が、家族が、安寧に、平和に」と初詣して祈願するのが常ですが、それに関連して「アランの幸福論」（比喩が山とあるので）を少し紐解いて紹介します。

「山頂まで登山電車で来た人は、登山家と同じ太陽を見ることはできない」　　アラン『幸福論』44 章

「欲しいものは全てそこにある。山のようなものだ。私たちを待っており、逃げて行きはしない。だがそれゆえ、攀じ登らなくてはならない」　　アラン『幸福論』28 章

小仙丈岳から眺める（描・鈴木氏）

横浜国大ホームカミングデーの交流会での一コマ①

■　２０１２年度ＯＢ総会報告

総務委員長　　横溝（21 期）
総務副委員長　白木（21 期）

【実施日時/場所】
　2011年10月29日（土）常盤台キャンパス（大学会館3Fミーティングルーム）
（総会）9:30～11:30　（懇親会）13:30～（HCD交流会会場にて）

【出席者】
嘉納⑴、塚原　吉野　米屋⑵、吉村⑶、谷上　郡司⑷、平沼　早坂　松本　溝田⑻、鈴木⑼、下村　山本⑽、榎本　山川⑿、中島⒂、白須　小浜　山下　梅野⒄、植草⒅、笛木⒆、西田　石垣　武藤　⒇、横溝　白木㉑、成島　山崎㉒、大津山㉓、松本㉙、小野　親跡㉞、佐藤　谷口53
OB　34名　現役2名　計36名　　※交流会参加者35名

【議事内容】
（1）定足数確認（総務委員長）
　定足数26期　　出席34名（16期）　委任状17期を加え、定足数に達している。　現役2名参加。
　議長・・・西田（20）　書記・・・白木（21）
（2）開会の挨拶と2011年度年間総括・2012年度活動方針（会長）
　〔年間総括〕
・ホームページについては2007年から開設、現在一日60件のアクセスになった。
・第30回記念山行では宿泊付きで箱根駒ヶ岳で実施した。
・山小屋は念願のフローリング張替え実施、京大のコンサートに自主参加をした。
・会報は46号～48号を発行、50号をOB会発足50周年に併せた記念号で発行を予定する。
・メルマガは毎月発行、8期＋9期、19期～24期などの合同懇親会が開催された。
・部史編纂では山行資料記録読み取りとDB化推進、公式ワンダリング記録の参加者リストを作成中である。
・役員会については年4回定例会を実施した。
・東日本震災に対する義援金を寄託した。
　〔活動方針〕
・今後のOB会への参画の輪を更に広げていくために、まず今回の総会参加者にアンケートを実施する等により、どんな活動を望んでいるのか、それらを役員会にて諮り、方針と目標を決めたい。
・OB山行についてはシニアOB会が現存しているが、次世代のシニアOB会を具体化する時期に差し掛かっていると認識している。
・苗名小屋については、利用者が固定化されており、今後更に活用の方法を広く議論していく必要があると考える。
・会報については、より世代を超えて身近なものになるように期待する。
・運営資金については、特別準備金も含めて現役と協議の上、効果的な運用を検討していきたい。将来的に予想されるのは、節目の創部60周年（2017年）だが、苗名小屋の改築への流用は利用者数増加後等の展開後と考えている。
（3）2011年度事業報告と2012年度計画（各委員会の補足）
　A）OB山行委員会
・報告：本年度の山行をパワーポイントで紹介する（1月　駒ヶ岳、5月　毛無山、10月　西沢渓谷）。
・*計画：1月14日　三頭山、5月12日　両神山、10月13日　滝子山を予定する。*
　B）OB小屋委員会
・報告：フローリング補修工事の内容を説明、1月22日雪下ろし、2月、3月各一回予定。現役と更に企画を詰めていきたい。

（4）2011年度決算報告（会計幹事と監査役）

A）一般会計・・・4年ぶりに黒字化になった。

B）特別準備金・・支出内容を報告した。

C）小屋会計・・・基礎工事、修繕工事等により支出は予定通り実施した。

D）監査報告・・・決算報告書、添付書類については問題はない。今後活動の活性化とよりわかりやすい運営を目指すための議論を更に深めていくことが重要と考える。

（5）2012年度予算提案（会計幹事）

・一般会計、小屋会計とも例年並みの支出で計画をする。

・特別準備金の支出計画はなし。

（6）2011年度事業報告と2012年度計画に対しての採決【一括採決】　　**採決：満場一致で承認された**

（7）OB会黎明期10年の歩み（部史編纂委員長）

（8）第一次月例ワンダリング（1965～69）PPT上映（会計幹事）

（9）役員改選および新役員の選出

A）特別決議（会長、委員長、副委員長）

退任：幹事長　石川（41）、OB山行委員長　小野（34）、編集委員長　下村（10）

新任：幹事長　西田（20）、OB山行委員長　山口（18）、OB山行副委員長　小野（34）、
編集委員長　石垣（20）、部史編纂副委員長　安武（20）

再任：会長　鈴木（9）、総務委員長　横溝（21）、総務副委員長　武藤（20）白木（21）、
OB山行副委員長　小浜（17）OB小屋副委員長　後藤（39）　**採決：満場一致で承認された**

B）通常決議

退任：編集委員　松本（8）、総務委員　影井（34）、OB小屋委員　志賀（44）

新任：総務委員　白須（17）茂呂（51）、OB小屋委員 堀内（18）田村（34）石川（41）野中（52）
編集委員　成島（22）、部史編纂委員　白木（21）塩野（46）

再任：総務委員　渡邊（36）、OB小屋委員　郡司（4）　諸角（5）　菅谷（6）小口（14）鈴木（14）
向井（18）　笛木（19）　笹倉（30）　安本（30）　親跡（34）　村山（34）

採決：満場一致で承認された

（10）新OB会員（2名）の承認

（52期）寒風澤（さぶさわ）、野中　　**採決：満場一致で承認された**

（11）退会報告

前田（3）、秋山（6）　2名

（12）現役活動報告（53期主将）

・パワーポイントにて活動報告（山行は4～10月で5回実施、部員の登録者は20名くらいだが、実質5名くらいで活動）

（13）閉会の挨拶（総務委員長）

年間総括
発表中の
鈴木会長

現在
議案
審議中

役員一覧

■・・・2011.10.29再任　　○・・・2010.10.30就任
□・・・2011.10.29就任　　★・・・2009.11. 8再任
●・・・2010.10.30再任　　☆・・・2009.11. 8就任

会長	鈴木 (9)	■
幹事長	西田 (20)	□
会計幹事	吉野 (2)	★
会計委員 (兼)	松本 (29)	☆
総務委員長	横溝 (21)	■
総務副委員長	武藤 (20)	■
	白木 (21)	■
総務委員	白須 (17)	□
	成島 (22)	○
	渡邉 (36)	■
	茂呂 (51)	□
OB山行委員長	山口 (18)	□
OB山行副委員長	小浜 (17)	■
	小野 (34)	□
OB小屋委員長	榎本 (12)	○
OB小屋副委員長	後藤 (39)	■
OB小屋委員会計担当	松本 (29)	●
OB小屋委員	郡司 (4)	■
	諸角 (5)	■
	菅谷 (6)	■
	小口 (14)	■
	鈴木 (14)	■
	向井 (18)	■
	堀内 (18)	□
	笛木 (19)	■

OB小屋委員	笹倉 (30)	■
	安本 (30)	■
	田中 (34)	★
	親跡 (34)	■
	村山 (34)	■
	田村 (34)	□
	石川 (41)	□
	野中 (52)	□
編集委員長	石垣 (20)	□
編集委員 (兼)	成島 (22)	□
ホームページ委員長	吉村 (3)	●
ホームページ副委員長 (兼)	鈴木 (9)	●
ホームページ委員 (兼)	石垣 (20)	○
部史編纂委員長	嘉納 (1)	●
部史編纂副委員長	安武 (20)	□
部史編纂委員	金田 (3)	○
	谷上 (4)	○
(兼)	菅谷 (6)	○
	山下 (17)	○
(兼)	笛木 (19)	○
(兼)	石垣 (20)	○
(兼)	横溝 (21)	○
(兼)	白木 (21)	□
	塩野 (46)	□
監査役	山崎 (22)	○

2011年度一般会計決算　　(2010.10.1～2011.9.30)

前期繰越		

収入

費目	予算	実績	差額
年会費			
前納会費			
一般寄付金			
小屋寄付金			
総会参加費			
山行参加費			
名簿郵送関連			
その他収入			
計			

(前納会費　　)
(延人員　　名　　名)
(今年度納入　　名　　名)

支出

費目	予算	実績	差額
会報作成・発行費			
小屋会計振替			
役員会費用			
総務委員会費用			
山行費用			
HP委員会費用			
部史編纂委員会費用			
その他（予備費）			
計			

当期収支

次期繰越			

(前納会費繰延　　)

注.収入・山行参加費には第30回記念山行箱根の参加費　　名、　　円が含まれている。
　支出・山行費用には第30回記念山行箱根の宿泊費　　名、　　円が含まれている。

2011年度OB小屋会計決算　　会計期間　2010.10.1～2011.9.30

前期繰越金(2010.10.1)		①

2011年度収支計算書

収入		
OB会計より振替		
・小屋寄付金		
小屋宿泊料金		
預金口座利子		
OB小屋会計収入合計		②

支出		
小屋地代		
除雪費用		
除雪作業補助		
基礎工事（中電産業）		
小屋整備修繕（DIY･床張替・他）		
振込手数料		
OB小屋会計支出合計		③

当期収支（②-③）	

次期繰越金(2011.9.30)	
預金（①+②-③）	

2011年度特別準備金収支　　（2010.10.1～2011.9.30）

前期繰越			
収入		支出	
遭難対策費追加分 計		現役テント他 部室ラック、三段ベッド 東日本大震災義援金 計	
		次期繰越	

2011年度貸借対照表

[一般会計]

資産		負債	2011.9.30
現金 振替口座 通常貯金 定額貯金 計		次期繰越 繰越前納会費 前受金 計	

[特別準備金]

資産		負債	2011.9.30
通常貯金 定額貯金 計		特別準備金 計	

2012年度一般会計予算　　(2011.10.1～2012.9.30)

	(11年度実績)	(12年度予算)
前期繰越		

(収入)

費目	11年度実績	12年度予算	差額
年会費 前納会費 一般寄付金 小屋寄付金 総会参加費 山行参加費 名簿郵送関連 その他収入 計			

(支出)

費目	11年度実績	12年度予算	差額
会報作成･発行費 小屋会計振替 役員会費用 総務委員会費用 山行費用 HP委員会費用 部史編纂委員会費用 その他支出(予備費) 計			

当期収支

次期繰越			

(繰越前納会費　　)

(前納会費　　)
(延人員　　)
(当年度納入　　)

2012年度OB小屋会計予算　　会計期間　2011.10.1～2012.9.30

前期繰越金（2011.10.1）		①

2012年度収支計算書

収入		
OB会計より振替 ・小屋寄付金 小屋宿泊料金 預金口座利子		
OB小屋会計収入合計		②

支出		
小屋地代 除雪費用 除雪作業補助 小屋整備修繕（DIY･他） 振込手数料		
OB小屋会計支出合計		③

当期収支（②-③）	
次期繰越金（2012.9.30）(①+②－③)	

横浜国大ホームカミングデーの
交流会での一コマ②

OB 会員近況報告　（総会ハガキより）　　総務委員（名簿係）　渡邊（36 期）

期	姓　名	近　況
名	田中	OB の方々のご活躍をつなぐ友情は皆さんの一生の財産でしょう。
1	吉田	町の行政と協働の環境ボランティア活動組織の会長をやらされ 7 年目になります。川の草刈り、ゴミ拾い、その他で、本年も既に 40 回近い活動回数になりました。頭の方は頼り甲斐が衰えているようですが、足腰は鍛えられているようです。
2	北見	「故中丸氏の息子達との…」の記事、心温まるいい話です。
3	井上	ワンゲルと環境のかかわりあいは自然環境保全になるかと思います。今は環境でも環境マネジメントにかかわっています。環境省が作成したエコアクション 21 の普及に微力ながら係わっています。
3	平林	71 才です。やっと初孫、が生まれてきてくれました。1 才。90 才まで生きのびて、一杯やるのを新しい目標としました。3.11 以後、怒りと悲しみのみ。せめて、旅は東北にしようと思っている一松島と仙台七夕へ行った。
3	井田	元気にしていますが、街中の坂道で一息ついています。
4	永田	3 月の大震災のときは車で熊野古道を歩きに仙台を離れていました。家は仙台市でも山側にあり、津波が来るようなところではありません。しかし団地内では地震の揺れで被害を受けた土地・家屋も見受けられます（屋根瓦の損傷以外は土地の造成に問題があるところが多いようです）。　また、今回の大地震では大きな建物での損傷が大きかったようで、東北大学の青葉山キャンパス（工学部と理学部が主として入っています）で、相当の被害を受け、立ち入り禁止になっている建物があります。材料系の建物もその一つのようです。また、建物は大丈夫でも、地震の揺れで内部の装置等も相当被害を受けたようです。 地震後、名古屋港からのフェリーは止まり、直接帰仙できないので、神奈川・藤沢の家内の妹夫婦の家に転がり込み、電気・水道が復旧したのを見計らい帰仙しました。4 月初めにガスも復旧し、ほぼ普通の生活に戻りました。津波を受けたところの復旧は進まず、福島原発の事故の処理もまだ終わっておらず、まだまだ落ち着かない日々です。仙台は福島原発から 70～80 キロメートルぐらいしか離れていません。人や家畜や農産物への影響が毎日報道されています。10 月に入ってから、そろそろ山歩きを兼ねた旅行に出かけようと考えています。
6	永井	娘夫婦が土日出勤のため、平日の保育園の送迎と休日の孫の世話でくたびれています。月例山行にも参加できず、ご無沙汰しています。
6	岡田	財団法人の理事長は退任しましたが、国際機関としての Secretary は相変わらずです。山行の自由度が増えました。
6	江角	来春 70 歳になります。『キャー、ウソ！』という感じでしょうか。
6	岡田	元気に山に登っています。
8	平沼	現在は元気でシニア山行等に参加しています。
8	池原	10 月下旬タクラマカン砂漠の西半分のシルクロード探訪ツアーに行ってきます。OB 総会は欠席です。飽きもせずスイス音楽の練習と演奏会で土日は出勤日です。近頃は平日にも演奏依頼があります。神戸六甲山や宮崎県綾町など全国に行っています。福島県相馬の津波被災地でも演奏してきました。そんなわけで山小屋もご無沙汰しています。
8	田中	月 1 回のシニア OB 月例山行への参加を楽しみにしています。
8	綾部	今年は右膝が変形性膝関節症になってしまい、山歩きができない状態です。筋トレに励み、はり、きゅうで痛みを取ったりしてだいぶよくなってきました。自分の体力に見合った山歩きをこれからはしていけたらと願うばかりです。10 月 29 日は孫の運動会のため欠席します。
8	松本	今春、ネパールのヒマラヤ街道のトレッキングを経験しました。メンバー8 名、シェルパ 5 名で 5360m のゴーキョ・ピークを目指し、Mt.エベレストをはじめ、360 度の大パノラマを満喫できました。

9	梶野	YWVOB 会報の編集、いつものことながらありがとうございます。又、ホームページも楽しく読ませて頂いています。皆様のお話に刺激を受け、行かれる状況になりましたら行かれるように、少しずつ歩いたり、体操等しています。健康第一でやっていきたいです。
9	三浦	時々山登りを楽しんでおります。
9	日渡	日揮を定年退職し、のんびり過しています。8 月に「日本百名山」登頂達成し、本を読み直しています。
10	山崎	皆様のご健勝をお祈り申しあげます。
11	榊原	昨年 8 月に退職し、1 年になります。OB 会行事には時々参加させてもらっています。
12	山川	4 月に自分の会社を立ち上げました。ネット上のサービスを行う会社で、今月からデータサービスに入ります。きっと、OB 会事務局の仕事としての会員の住所更新などにはとても便利だと思います。
13	竹村	定年後、三造有機リサイクルという三井造船の子会社に勤務しています。 札幌にあり単身赴任しています。いつ首になるか分からないので、名簿には記載しないでください。 札幌市の生ごみを飼料化している会社で、興味があればホームページをご覧ください。 URL：http://www.sor.co.jp/
13	太田	2011 年 3 月で定年退職となり、4 月からは再任用教員として週 3 日教壇に立っています。フリーの時間が増え、山行を愉しむ機会も増えてきました。
14	鵜飼	本年 6 月 28 日退職後、しばらく行っていなかった山にみなさまと再びいっしょに登れるよう、体力リハビリに努めています。
14	小口	3 月末に定年退職し、それから、少し長い旅をしたり、資格取得の勉強をしたり、片付けをしたり、今までできなかったことをしたりと、人生の大きな句読点でした。11 月からまた少しずつ仕事もします。自分の名前にからめるだけではありませんが、「悠」「友・You」「優」「遊」「雄」を大切にしていきたいと思っています。（2011.9.9）
15	岩船	YWVOB 会報 No.48 を送って頂きありがとうございます。久しぶりの OB 会報を懐かしく読ませていただき感謝申し上げます。引き続き宜しくお願いします。
16	板垣	本年 4 月から名古屋電機工業株式会社に移籍し名古屋で単身赴任をしており、休日には御在所岳などの近隣の低山歩きを楽しんでいます。
18	浜田	岡山にて活動しています。先日、国大に梅野先輩を訪ねました。
18	渡部	4 月に転勤で横浜から本社（東京）に移りました。
19	中島	YWV は自分の青春そのものでした。OB 会万歳。
19	笛木	3/11 はアブダビで地震のことを知り、本当にビックリしました。OB 役員会の資料編集の作業で国大部室に足を運ぶことが多くなり、だんだん居心地の良い空間になってきつつあります。7 月に行った立山（浄土山、奥大日岳）で雷鳥のつがいや親子連れに会えて感激しました。
20	作山	OB 会からは、東日本大震災への多大な義捐金を賜り、被災地の一人として厚く御礼申し上げます。ここ、いわき市では、地震と津波、そして原発事故の風評被害と、なかなか復興の目処がたたないところですが、「福島の復興なくして日本の復興はない」、そして「いわきの復興なくして福島の復興はない」という覚悟で日々奔走しています。
28	小久保	今、子育ての最中ですが、少し子どもが手を離れるようになりました（中 2、小 5）。家族一緒の山行と、妻と二人の山行と、両方楽しめるようになってきました。この夏は、家族 4 人で大雪山旭岳に登りました。この秋は、先週、高尾山→城山に妻と二人で行きました。 10 月に家族で高尾山→陣馬山まで行く予定にしています。その後は、奥秩父、瑞牆山や、三ツ峠など、現役の時に登った山を再訪しようかと考えています。山を歩くと、いろいろなことを考えます。感じます。帰ってきたときに、何か元気になっている気がします。それは、現役の時に感じた感覚であり、つい最近の山行でも感じたことです。

		生涯、末長く、その歳なりに楽しめる趣味の礎を私にもたらしてくれた YWV に感謝しています。 OB 会の皆さんもお元気そうでなによりです。OB 会の活動が、末長く続きますことを願っています。
36	渡邉	地元の高縄山でボランティア活動をしています。草刈りなどの登山道整備をしたり、大人向け、子供向けに山に親しんでもらうイベントをしたり。今年の初めにこのボランティアサークルの歌を私が作ったのですが、とても喜んで歌ってもらっています。
46	三井	この夏から夫が在バーレーン大使館勤務となりました。私は、色々あって現在医学部生をしているため、一緒に行くことはできませんが、長期休みはバーレーンでテンポラリーな外交官夫人をする羽目になりました。大使館の世界は、「本当にこんな世界があったんだ」と驚くというか、漫画のよう。夫も外務省プロパーではないため、別世界からやってきた私たち夫婦には、信じられないことばかり。大使公邸の公式行事に「外交官夫人」として参加する機会がありましたら、中々面白い話を報告することができると思いますので、OB 会報にお便りさせていただきたいと思います。バーレーン自体も、こんな機会でもなくては行くことはまずない国だと思いますので、皆さんのご興味があれば紹介させていただきます。山はありませんけれど。娘は 3 歳になり、足も気も強く、山に登る気満々です。
47	井上	46 期塩野とともに今年の 4 月から沖縄にきています。離島巡りにスノーケリング、泡盛など沖縄を満喫しています。

2011 年 10 月 29 日　YWV OB 会総会後、常盤台キャンパスの学生会館前にて

■　ＯＢ役員会へのアンケート　結果報告

総務副委員長　武藤（20 期）

2012 年度 OB 総会にて行いました OB 役員会へのアンケートの結果報告を致します。

質問 1：OB 山行について	質問 6：会計、監査について
質問 2：山小屋について	質問 7：部史編纂について
質問 3：OB 会報編集について	質問 8：シニア OB 活動について（関係者のみ）
質問 4：HP（ホームページ）について	質問 9：現役への活動支援について
質問 5：総務全般（メルマガを含む）について	質問 10：OB 総会および OB 会活動について

【質問 1 の回答】

1. 現状通りでいいです。たまに 1 泊の山行があっても、のんびりできるように思います。
2. 健脚者向き山行や 60 歳代後半や 70 歳代での参加できる山行も織り交ぜて企画するのも一考。
3. ついて行きます。
4. 現状のままで良いと思います。星の数で難易度を出すのも良いです。シニア（65 歳以上）、ミドル（50 歳以上）ジュニア（23 歳以上）OB 会と 3 段階くらいに分けて山行を企画してくれるとミドルに参加できるかも。
5. 地域、日程等適当と思います。富士山周辺（杓子岳、雨ヶ岳、節刀ヶ岳等）。
6. なかなか参加できないので、特に希望はありません。
7. 地域はなかなか渋くて、日程もいいと思いますが、参加には至らず残念です。
8. 丹沢―大室山、上州三峰山、御坂山塊、山小屋ベースの山行（雨飾、焼山、妙高、斑尾など）。
9. 一回は百名山級を入れて欲しい。
10. シニア OB 山行会の動向（終了）とうまく同期化していくとよいと考えるが、年齢幅が拡大し、運用が難しい？
11. なるべく毎回いけるようにしたい。地域、日程等は委員会におまかせします。
12. 山行委員会に参加しています。適当であると思いますが、今後シニア山行をどう展開するか課題です。
13. 横浜、東京、近郊＋温泉付き。
14. 現状の進め方で良いと思います（できる限り参加させていただきたいと思っています）。
15. なかなか参加できず、残念ですが、今同様、早めに日程を決めて頂けると、予定を確保し易いので、よろしくお願いします。
16. 年 3 回、日帰り山行、現状で良いと思います。
17. 当初は参加していたが、最近はしていない。同年代以降の参加者が次第にいなくなってきたのが残念。最近の現役はハイキング程度しかできないようなので、レベルアップと啓発を図るために、OB 山行も現役を含めた位置付けを考えてみてはどうでしょうか。
18. 年 3 回は手ごろだが、冬を避けて、春、夏、秋はどうでしょうか。あるいは年 2 回（春、秋）でもいいかもしれません。
19. 現状でよいと思います。難易度を楽な山、中くらい、結構きつめくらいのバリエーションをつけると参加者も増えるかと。
20. 現在の内容でいいと思いますが、前回のメルマガのように山行の紹介時に高低差等がわかったり、（縦走などで）ルートが所要時間別に分かれたりしていると参加してみようと思う人が増えるかも知れません。

アンケートのご協力、ありがとうございます。今後の OB 会活動に生かしていきたいと思います。また 12 月のメルマガにても案内しておりますが､総会に欠席された会員の皆様からのご意見等もお待ち申し上げます。

ご意見等は OB 会総務委員会へ

尚、質問 2 以降の回答は、紙面の都合上割愛しましたが、OB 会ホームページに全回答を掲載してありますので是非ご覧下さい。

■　第４回 ＯＢ会役員会報告（１０月１５日）

幹事長　西田（20 期）

2011-10-15（土）14:00 から川崎市「てくのかわさき」にて第 4 回役員会が開催された。

【出席】嘉納（1）、吉野（2）、吉村（3）、鈴木（9）、下村（10）、榎本（12）、白須（17）、小浜（17）、山下（17）、山口（18）、笛木（19）、武藤（20）、西田（20）、横溝（21）、白木（21）、山崎（22）、親跡（34）
以上 17 人

【内容】

1.各委員会報告

①総務（横溝委員長）： 10/29 総会会場（大学会館 3F）予約確認済み。

②山小屋（榎本委員長）：8 月、10 月（8～10）実施し、太陽パネル 3 面設置、電気 LED 切替済み。
11/5-6（現役参加予定）小屋閉め。雪下ろし（1/21-22）⇒現役の小屋志向高まる。

③編集（下村委員長）： 05 年以来担当終了し交代希望。委員長・下村⇒石垣、委員・松本⇒成島。⇒了承。

④山行（山口副委員長）： 総会でのプレゼン紹介。

⑤ホームページ（吉村委員長）：シニア OB 山行、OB 総会案内のリンク実施。

⑥部史編纂（嘉納委員長、笛木委員）：　史料整備については、組織系のデータ整理や映像化などほぼ完了し、史料編纂プログラム（PHP ベース）で作成しデータベース化を推進中。
⇒編纂委員会で公開方法、運営プログラム、メンテ方法などを検討し、役員会で討議する。

⑦会計（吉野幹事）：a）2011 年度の決算を報告＆承認。ただし、山崎監査役から第 30 回記念 OB 山行の補助の決定プロセス、ルールの明確化が必要旨、指摘あり ⇒決算報告で明記する。
b）現役から 5 万円の運営費用につき OB 会からの補助の依頼があり、承認、決定した。

⑧現役についての報告（鈴木会長）：現役の人数は 55 期（1 年生）が 5 人（うち女性 2）、54 期（2 年生）が 9 人（実質）、また 53 期で女性 1 人入部。

2.次回 OB 総会について

①スケジュール案：10 月 29 日（土）ホームカミングデー（HCD）にあわせて実施。
9:30-11:30 OB 総会　（場所：学生会館 3F ミーティングルーム）（11:50-13:20 HCD メイン講演）
13:30-15:30 交流会で YWV 懇親会（食堂）

②議事・・・活動報告、計画審議、会計実績・予算審議、役員変更、OB 会 50 周年報告、現役活動報告など。

3.次回役員会予定：　2012 年 1 月 28 日（土）14：00～
場所：　てくのかわさき（武蔵溝ノ口）

横浜国大
ホームカミングデーの
交流会での一コマ③

YWV OB 会が
占拠した
テーブルと OB 会旗

■　第３２回ＯＢ山行（西沢渓谷）報告

OB 山行副委員長　小浜（17 期）

日　程：平成 23 年 10 月 22 日（土）
参加者：嘉納（1）、吉野（2）、佐木（8）、鈴木（9）、小口、狩野（14）、渡邉、山下、小浜（17）、堀内、壷井（18）、笛木（19）、小野、親跡（34）、狩野妹、参加人数計 15 名

今回は当初、金峰山の計画だったが登山出発点の大弛峠までの道が台風の影響で通行止めとの親跡氏からの情報。急なことで他の山への下見の時間もなく、観光地でもある西沢渓谷の紅葉見物に予定変更。ところが当日朝、4 時半に目覚めると天気予報どおりのどしゃ降り。夜が明けるのも遅くなり、真っ暗な闇の中の激しい雨音。今日は本当に行くの？と疑問がわく。それでも車を出す役目だし、OB 山行副委員長だし、直前に小野委員長から雨でも行くという檄メールでのお触れもあり、仕方なく 5 時半自宅発。二俣川で 18 期の二人、その後、同期の渡邉宅にお迎えに行く。期待通り、渡邉夫君（実は小浜と同じ職場）がみんなの朝食（おにぎりとおかず）を作ってのお見送り。相変わらず美味しかったー。混んでいると予想された中央高速も流石のガラガラ、久しぶりの再会で車内での会話も弾み、8 時半過ぎには塩山駅に到着。その頃には雨も小降りになり、考えてみれば人気の渓谷も空いていて静かだし紅葉見物にはもってこいかも、と期待に変わっていた。

待ち合わせ一番乗りと思っていたが既に吉野車、小口車は到着済みであった。塩山駅を予定通り 9 時出発。9 時半に渓谷の道の駅に到着。駐車場もガラガラ。ここで狩野姉妹（ゴージャスな感じです）と合流。狩野さんも直前のメールでは雨なら行かないかも、とのことだったが、♪山の子は山の子はみんな強いぞ♪。

西沢渓谷 1 周、3 時間 30 分コースを予定していたが、1 時間ほど歩くと先頭の吉野さんが、すれ違ったグループからその先貞泉の滝手前で橋が冠水のため通行不能との情報をゲット。

仕方なく来た道を戻り、昼食後に逆ルートで渓谷一番の見どころである七ツ釜五段の滝へ。雨のため水量が多く迫力満点の滝だった。往復約 3 時間かけ道の駅に戻ったのが 15 時 45 分。観光地ではあるが歩いた充実感があったのも雨のせいか。紅葉も雨にぬれた鮮やかさはなかなかのもの、風情もあった。

帰りに全員で近くの花かげの湯に寄りさっぱりして解散。今回、初参加は 18 期壷井さんと狩野さんの妹さん。壷井さんはこれを機会にぜひ常連に、みどりさんはアナハイム在住で滞米 30 年、たまたま帰国していたので参加したとのこと。また、機会があればご一緒しましょう。

では、次回、第 33 回 OB 山行は 1 月 14 日（土）奥多摩三頭山（みとうさん）(歩行時間 3 時間程度の手ごろな山です）で

See you again !!

（歩行距離 13km、歩行時間 5 時間、高低差 200m）

■　２０１２年度ＯＢ山行の予定

OB 山行委員長　山口（18 期）

例年どおり年3回のOB山行を予定しています。詳細は今後の会報やメルマガでお知らせしていきます。OB山行に難しい規則はありません。初参加の方も、登山は久し振りの方もどうぞお気軽にご参加ください。

●第33 回 三頭山（みとうさん）　　2012 年1 月14 日（土）
　都民の森～鞘口峠～三頭山～三頭大滝～都民の森（歩行時間 3 時間）
　冬は静かな山歩きが楽しめます。
●第34 回 両神山（りょうかみさん）　2012 年5 月12 日（土）
　白井差新道～両神山（往復）　　（歩行時間 6 時間 20 分）
　ツツジの季節に百名山を訪ねます。予約の必要な登山道を使いますので、申し込みはお早目に。
●第35 回 滝子山（たきごやま）　　2012 年10 月13 日（土）
　初狩駅～滝子山～笹子駅　　（歩行時間 5 時間 40 分）
　駅から駅に抜けるコースが便利な中央線沿線の山は秋がベストです。

事前の偵察山行への参加も歓迎します。実施日は山行委員の都合で決めさせていただきますが、メルマガでお知らせしますので、お見逃しなく。

問い合わせ先　　山口（18）、小浜（17）、小野（34）
メールアドレス:

■　第３３回ＯＢ山行（三頭山）のご案内

OB 山行委員長　山口（18 期）

2012 年度 OB 山行は東京都民水源林の山から始めます。シーズン中は人気の山ですが、冬はさすがにシーズンオフ、静かな山行をしみじみと楽しみましょう。と言いたいところですが、今や OB 山行に静けさは似合いませんね。ついでに熱気で寒さも吹き飛ばしましょう。もちろん温泉も近くにありますよ。初参加の方、お久しぶりの方、大歓迎！お車を出してくださる方、大募集！多くの方のご参加をお待ちしています。また 12 月、1 月のメルマガでも詳しくお伝えしますので、お見逃しなく。

〔日　程〕　2012 年 1 月 14 日（土）
〔行　先〕　三頭山（みとうさん・1531m）
〔地　図〕　昭文社山と高原地図「奥多摩」
〔集合・交通〕
　電車：武蔵五日市駅　8:50 集合（8:48 着の電車に乗ってください）。
　　注：登山口までのバスは運休中なので、マイカーに分乗して登山口に向います。
　マイカー：出発は、横浜 6 時・東京 7 時頃。
　　配車は希望者が揃い次第調整します。
〔行　程〕　都民の森～鞘口峠～三頭山～三頭大滝～都民の森
　（歩行時間 3 時間）
〔参加費〕　500 円
〔持ち物〕　昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、軽アイゼン（任意）
〔温　泉〕　数馬の湯（800 円）。下山後ご希望の方はタオルのご用意を。
〔申込み〕　参加ご希望の方は 1 月 6 日までに下記のいずれかにご連絡ください。
　小浜（17 期）山口（18 期）　小野（34 期）
　メール：
〔その他〕　ハイキング保険の加入をお勧めします。会報 NO45、7 頁に詳しく紹介済。

■　YWV現役部員の活動紹介

主将 佐藤（53 期）

夏合宿（8 月 20 日～26 日）報告

今年度の夏合宿は、長年の「僕の」夢であった、北海道大雪山系の縦走に決定いたしました。高校時代から山岳部に所属していたものの、北アルプスと南アルプスは何度か行っているのに、夏山のメッカとして有名な大雪山は一度も行ったことがなく、その雄大な山脈にいつか足を踏み入れてみたいと常日頃から思っていました。北海道自体にも行ったことがなく、大雪山への関心は年々強くなってきていました。幸いにして、今年度は僕が主将となったため、部員には僕のわがままに付き合っていただくことにいたしました（笑）。

YWV として大雪山に行っているのはこれ以前には 5 年以上前で、資料の収集に難航しました。「結構寒いんじゃない？」「ヒグマの対策は？」「水は、エキノコックスはどうするの？」「ガスどこで買えばいいの？何個買えばいいの？」「移動は？」ぶち当たる問題が、普段立てる山行計画のものとは違うのに、困惑いたしました。

数々の問題を解決すべく、合宿に参加する部員それぞれに担当を与え、「全員で計画する、作り上げる」合宿を目指しました。僕は旅行代理会社ではないし、あってはならない。サークルの活動は全員で行うものという意識を強めたのが、昨年の執行部とは違う点であると思います。

大きな時間をかけて計画した合宿が 8 月 20 日から始まりました。

8 月 20 日

移動日。部室で装備、特に共同装備を確認しパッキング。17:35 羽田空港発・旭川空港行に搭乗。飛行機からの眺め、良好。旭川に到着したのは 19 時すぎ。部員全員北海道に初上陸（笑）。関東とはちがい、8 月なのに肌寒い。到着後、ガスを購入（空港で EPI 扱っています）。 旭川駅にバスに揺られて移動。やはり寒い。

旭川駅に到着後、スーパーで買い出し。買出し量がとんでもない…。夕食は旭川ラーメン。ホテルに到着後、不必要な梱包をすべて捨て、食料分担。大じゃんけん大会。興奮冷めやまぬまま就寝。

8 月 21 日

山入り日。旭川駅から眠い目をこすりながら、バスに乗車、層雲峡に移動。バスからの眺めは壮大。

層雲峡では『層雲峡ビジターセンター』を訪問。施設のおばさんに、植生の写真や山域のミニチュアを紹介してもらう。合宿での総移動距離に全員絶句…。

移動開始。層雲峡から黒岳まで厳しい稜線を登る。となりでロープウェイやリフトが動く中、ほとんど使われてないような荒れた登山道、パラつく雨。ついてない・・・。

黒岳山頂に無事到着。標高 2000m 弱で高い木が全くない。植生が関東と全く違う。地元の秋田の山に似ているなという印象。黒岳石室キャンプ場に移動、幕営。

8 月 22 日

いよいよ北海道最高峰、旭岳へ。黒岳石室キャンプ場の管理人の勧めにより、ルートを少し変更し、大雪山のお鉢をめぐることに。ちなみにこの日行った名前のついたピークの数は 8 つ。

旭岳まで、お鉢をぐるりと半周。途中にやや厳しい雪渓。天気がよく、お鉢平がきれいに見える。旭岳は、お鉢とは独立した大きな存在。山頂までは稜線もなくザレた急登のみ。全員一つ覚悟して、一気に山頂まで。

天気が本当によく、次の日通るトムラウシ山までの稜線がかなりきれいに見えました。

旭岳を下り、残りのお鉢をめぐり、白雲岳避難小屋キャンプ場へ。途中ではピィピィとナキウサギの鳴き声。この日は全員相当に疲れたようでした。

8 月 23 日

トムラウシ山手前の忠別岳まで一気にアプローチ。前日の移動量が多く、全員元気ない。天気もあいにくの曇り。稜線上はすごく寒い。ガスがひどく、ブッシュが濡れている。適度に休憩をはさみつつ、忠別岳を越え、忠別岳避難小屋へ。天気が悪くかなり寒いのでこの日は小屋に泊まりました。

8 月 24 日

百名山、トムラウシ山へ。前々日の疲れは小屋で回復できたようで、表情は明るい。再度稜線にのり五色岳

→化雲岳→トムラウシ山の順に移動。天気はまだ悪くガスが濃い。この区間は湿地が多く木道が多い。天気の悪い中でも、湿地の雰囲気は趣深い。コバイケイソウがきれいです。

トムラウシ山手前のガレ場から天気が徐々に回復し、北沼分岐ではトムラウシ山がかなりきれいに見えました。

最後の登りを越え、トムラウシ山到着。達成感が素晴らしい。天気も完全に回復し、眺め良好。最後のピークが晴れて本当に良かったです。

トムラウシ山を下り、トムラウシ山南沼キャンプ場へ。最後の日の春雨、おいしかった。天気図をとって、トランプをして就寝。

8 月 25 日

下山日。天気微妙。

トムラウシ山を目に目に収め、大雪山をしみじみと思い出しながら下山。帰るまでが合宿。気を抜かず、しっかりと地形図を確認しながら移動。途中でまたもナキウサギの鳴き声。この可愛い鳴き声ももうしばらく、いや一生聞けないかもしれないと思うと、非常に残念。

最後の力を振り絞り、トムラウシ温泉へ到着。疲れきってひどい顔をしているが、久しぶりのやりきった感。大満足の山行でした。

温泉で体を癒し、新得まで移動。新得から特急に乗って帯広へ移動。

帯広で飲み会。ジンギスカンがうまい、酒がうまい。適度に羽目をはずして（笑）、宿に移動、就寝。

8 月 26 日

観光日。レンタカーを借りて、帯広を観光。

明治の十勝チーズ工場を見学。小さい子に混ざって、大学生の大きなお友達がチーズの製造工程を熱心に見学。ナチュラルチーズを試食させていただきましたが、個人的にはゴーダチーズがおいしかったです。

その後、田中義剛の花畑牧場へ。意外と小さい。家畜を見学し、豚丼を食べて、生キャラメルを買って、見学終了。岩手の某牧場のような所を想像していたので残念でした。

十勝・帯広をグダグダとドライビング。ワイン館を見に行ったりもしましたが、閉館間際で大して見られませんでした。

この日も飲み会。酒がうまい。飲み会後、帯広で解散。僕は直接地元に青函トンネルを使って帰り、他の部員はもう一泊して次の日に関東に帰りました。

今回の合宿は、サークルとしてはかなり久しぶりになる大雪山で、近年夏のツアー山行で死亡事故がおきている等の理由から、先輩の方々からは大批判でした（僕にとっては去年行った、毎年人が死んでいる北アルプスの大キレットのほうがよっぽど怖いと思いますが・・・）。

しっかりと計画たてれば危険な山も楽しめると思いました。逆に、計画も見ずに批判するのはどうかと思いました。

YWV にいて、初めて「僕が」満足できる山行でした。来年度以降も充実した夏の合宿にできればな、と思います。

また何年も北海道に行かないことになると思うと胸が熱くなるな・・・。

旭岳山頂にて

トムラウシ山山頂にて

■　第２３回シニアの集い報告

第 23 回シニア OB の集い　10 月 16 日（日）17 日（月）　　郡司（4 期）

2011 年 10 月 16 日(日) ～17 日（月）に、第 23 回シニア OB の集いが（上越）水上温泉で開催されてシニア OB および家族の総勢 55 名が参加しました。

初日は、上州武尊山、尼ヶ禿山～迦葉山、奥利根ドライブと照葉峡の滝巡り、以上 3 コースに分かれて歩き、宿舎へ直行する組も含めて夕方に水上温泉「ひがきホテル」へ集合しました。武尊山コース組は長い行程に悪戦苦闘して集合時間に間に合わず、集いの宴は予定を 30 分遅らせての開会となりましたが、嘉納代表（1）の開宴挨拶を皮切りに全ての行事が滞りなく行われました。今年の映像上映は、恒例の目で見る「シニアの活動 2011」（塚原（2）月例会委員長口演）の他に、今年 OB 会創設 50 周年記念で製作された「第 1 次月例ワンダリング（1965～1969）」（吉野（2）委員口演）が本番の OB 総会前に披露されて、皆さん 40 年以上も昔の自分の若かりし雄姿を懐かしそうに眺めていました。

今回、集いおよび月例会の参加回数表彰の受賞者は下記に示す方々です。

2 日目は、谷川岳、谷川岳一ノ倉岩壁観賞ハイキング、天神峠～高倉山散策が行われました。紅葉シーズンの週末には混雑が懸念される谷川岳ロープウェイとロープウェイ土合口駅駐車場を利用するコースを月曜日実施としたので、3 コースとも混雑を回避することができて作戦勝ちでした。

今年は 2 日間とも天気に恵まれて、各コースで素晴らしい山岳展望の写真が撮影されていますし、紅葉も見ごろを迎えて参加者は皆さん錦秋の色あざやかな風景を満喫されたことでしょう。

・シニア OB の集い参加回数表彰の受賞者

　　10 回参加賞　…　吉村（3）、小木曽（7）

　　20 回参加賞　…　嘉納（1）、井上（3）、松本（6）、池原（8）

・シニア OB 月例会参加回数表彰の受賞者

　　30 回参加賞　…　高須（5 家族）

　　50 回参加賞　…　近藤（6）、桜井（6）、池原（8）、早坂（8）、早坂（8）

　　100 回参加賞 …　北見（2）、塩谷（3）、谷上（4）、古宮（7）

1A　上州・武尊山（2156m）　参加人数・・・11 名　　早坂（8 期）

武尊山山頂と難所の鎖場（下）　撮影：小木曽氏（7）

歩程が長いので前泊（ひがきホテル・素泊まり）を呼びかけ、10 名前泊。明け方まで強雨で心配したが、予報を信じて宿を出発。登山口駐車場には静岡から直行した 1 期吉田さんが先着していた。道に迷った車もあり、雨支度を整え 15 分遅れの 7 時 45 分出発。

カラマツ林の林道を経てブナの樹林帯を登る。幸い雨は上がった。傾斜が増し、木の根を跨ぎながらの急登をこなし須原尾根に出る。尾根筋はコメツガの原生林。難所の「行者ころげ（5 ヶ所の梯子・ロープ・鎖場）」は岩が濡れて滑りやすいのと、人数が多いため通過に時間がかかった。それでも 12 時 5 分前に何とか山頂に辿り着いたら、先着の登山者から拍手で迎えられた。拍手の意味は多分、難路ルートを攀じ登ったことと熟年パーティーに対するもの（大半の登山者は武尊牧場からリフト利用のピストン組で我々より大分若かった）。　誇らしげに記念写真を撮り、昼食。

尾瀬の山や皇海山、赤城山方面は良く見えたが谷川方面はガスの中。ピストンは岩場の下りにリスクがあるので、時間がかかっても安全な周回コースをとることにし、12 時 30 分下山開始。　急降下の後はピラミダルな剣ヶ峰山を前に見据え、主峰・沖武尊を返り見たり周りの峰々の紅葉を愛でながらの稜線漫歩。しかし剣ヶ峰山への登り返しで同時に 3 人が足を攣るトラブル。バンテリンを塗ったりポカリを飲んだり小休止。この後ピッチがガックリ落ちてしまった。剣ヶ峰山山頂をピストンできたのは吉田さんだけ。ここから急傾斜のハードな下りが延々続く。木の根も滑るし岩も滑り大きな倒木も邪魔をする。とにかく想定外に時間がかかる。樹間に玉原湖が見える。突然 1 人が足を滑らせ笹薮に転がり込んだ。ヒヤッとしたが幸い外傷なしでヤレヤレ。傾斜が緩み一安心と思ったらまた 1 人が足を捻った。強気の彼は何とか我慢して歩くとのこと。大半が足にきている。ここから先は携帯が繋がらないので「大分遅くなる旨」の連絡を入れる。

沢の渡渉（3 ヶ所）にも時間がかかり、駐車場到着 17 時 30 分。トラブル続出で反省点も多いが、命に別状なく全員「日本百名山・武尊山」の一等三角点を踏むことができたことで良しとせざるを得ない。

1B　尼ヶ禿山・迦葉山（1466m）　参加人数・・・18 名　　近藤（6 期）

日程：9：30 玉原高原センターハウス集合　9：50 出発
→11：05 尼ヶ禿山山頂 → 13：40 迦葉山山頂 →
14：50 弥勒寺
天候：雨のち曇り時々晴れ

尼ヶ禿山山頂にて　撮影 郡司氏（4）

当初のリーダーである鉄人腰塚さんが、まさかの体調不良で参加不能となり、近藤が代役リーダーとなる。

横浜を出る時は、どしゃ降りの雨であったが集合地では薄曇りの山行日和となる。玉原湿原を経由し、紅葉を愛でつつ尼ヶ禿山(1446m)山頂に着く頃は写真のように快晴で 270 度(？)の眺望を楽しむことができ、武尊山も雲間にはっきり見ることができました。昼食後迦葉山までは緩やかな縦走路が続き、迦葉山からは急斜面を一気に下山地の弥勒寺まで全員無事に下山しました。弥勒寺は日本三大天狗と言われ、日本一の大天狗面の他、大小の天狗面が所狭しと並んでおり交通安全にご利益があるとのこと。

1C　紅葉の奥利根ドライブと照葉峡（てりはきょう）　参加人数・・・17 名　服部（7 期）

1C は奥利根の紅葉を訪ねるドライブコース。10 時、水上駅に総勢 17 名が参集して、奈良俣湖を目指して奥利根方面へ。奈良俣ダムは利根川の支川、楢俣川に建設されたロックフィル方式の多目的ダム。コンクリートの壁ではなく、岩石を積み重ねた壁の珍しいダム（左写真）。

ここから尾瀬・片品方面へ向かうと直ぐに「照葉峡」。紅葉が美しい。ブナの実がたくさん落ちていて、初体験とばかりブナの実に群がる。平家の落人村といわれる藤原湖から奥に入った宝台樹の蕎麦屋で昼食。1A が駐車していた武尊神社近くの「裏見の滝」へ。往復 30 分がこの日唯一の歩行の楽チンコースでした。

2A　紅葉の谷川岳（1977m）　参加人数・・・14 名　岡田（6 期）

「集い」の興奮も冷めやらぬ 2 日目は、★2.5 の谷川岳である。なんと、私の行いが良いためか晴天ではないか。14 名の精鋭参加者は 4 台のマイカーに分乗し谷川岳ロープウェイ「どあいぐち」へ。運行開始直後の 8 時 15 分に難なく搭乗。眼下には紅葉に彩られた白鷺滝、西黒沢が見え隠れし、西黒尾根の赤（少ないが）、茶、黄、緑のグラデーションに見惚れているうちに「てんじんだいら」に到着。天神山へのリフトの後ろには双耳峰トマの耳、オキの耳、笠ヶ岳、朝日岳、白毛門、さらに右に眼をやれば、至仏山、武尊山、遠くには日光白根山、皇海山まで好眺望である。

8 時 30 分天神平発。避難小屋を過ぎ、天狗のトマリ場、天神のザンゲ岩付近からは左右に広がる見事に色付いた山肌を愛でつつ、難なく肩の小屋に到着。さらにトマの耳を越え、11 時 30 分オキの耳に到着。白神氏のヨーデルで気分を出してから記念撮影に成功。ガスが出始めたため、急ぎ肩の小屋へ戻り、予て用意の豪華弁当をいただく。ザンゲ岩あたりから温かな日差しが戻る中快調に下山し、14 時 10 分天神平に帰着、解散とした。定番のソフトクリームをなめつつ、1 期から 8 期の参加諸氏の健脚ぶりに感嘆した次第。

2B　谷川岳一ノ倉岩壁鑑賞ハイキング　参加人数・・・28 名　吉野（2 期）

快晴の 2 日目、谷川岳一ノ倉岩壁鑑賞コースは 9 台の車を連ねてロープウェイ土合口駅広場に集合、9 時 10 分に出発しました。昨日とは打って変わってそよ風がひんやりと気持ちよい。マチガ沢へ向かう舗装された幅の広い旧道は、月曜日というのに歩行者も車も多くて歩きにくいくらいです。道路沿いの紅葉は丁度見頃で、30 分ほどでマチガ沢に到着、中腹までは見事な紅葉、そこから上は急峻な岩壁が黒々と聳えています。谷川岳のピークも稜線もはっきり見え、その見事な景観にうっとりしました。さらに 30 分歩いて日本三大岩壁の一つ、一ノ倉沢に到着しました。駐車場は満杯、見物客もたくさんいて写真を撮るのもままならない混雑でした。

一ノ倉沢にて　撮影：谷上氏（4）

かつて我々の若かりし頃、二人のクライマーが宙吊りになり、救助不能で自衛隊員がライフルでロープを撃ち切ったという衝立岩や烏帽子岩、南陵テラスなどがはっきり見

え、紅葉と岩壁、青い空とその眺めは圧巻です。一ノ倉沢から先は山道です。30 分ほどで幽ノ沢を過ぎ、ブナのしずくでのどをうるおし、新道におりました。静かな道を湯檜曽川沿いに歩き、途中幽ノ沢の河原で特製弁当の美味しい昼食をとり、マチガ沢で旧道に戻りました。土合口には 14 時に到着、山岳資料館を覗いてそれぞれ帰路につきました。まことに快適な紅葉と岩壁鑑賞のハイキングでした。

2C　天神峠　高倉山散策　参加人数・・・5 名　　小林（7 期）

高倉山にて　写真提供：鈴木氏（7 期）

2C は女性ばかり 5 人のコース。

朝 9 時少し前に宿を出発しロープウェイ乗り場に向かいました。紅葉は見事に進んでいて彩りを楽しみつつ天神平駅に到着。

天気も上々、ルンルン気分で出発。30 分程で谷川岳天神尾根との分岐点に到着。谷川岳が目の前に大きく聳えるのをしばし眺めて頂上へ。道は岩のごろごろしたしかもぐちゃぐちゃ道でしたが、難なく抜け上へ到着。谷川岳、白毛門などぐるりと見渡せる岩の上で写真を撮ったりして 10 分ほど休み、リフト降り場まで。そこで昼食の予定でしたが、観光客の多さと時間が早すぎたので高倉山にて弁当と変更。見晴らしも良いスキー場の草地をめいめい自分のペースで歩いてもらい、高倉山手前の頂に 11 時 15 分到着。そこで待望の弁当。後から 2 人登ってきただけで人はいないし、ほかほかと温かいし、素晴らしい眺めもおかずとして大変美味しくいただきました。

40 分程休んで最後の下り。ロープウェイ駅まで、やはりそれぞれのペースで下り、全員が駅に到着したのは 12 時 15 分。再び素晴らしい紅葉に歓声を上げつつ土合口駅に。上毛高原駅に 13 時 12 分着、解散となりました。秋の彩りや山々を眺めつつゆっくり歩き、お喋りも楽しみ、シニア OB 会に相応しいコースだったと自認しています。参加の皆さんご苦労さまでした。

■　苗名小屋便り

OB 小屋委員長　榎本（12 期）

左から：14 小口、5 諸角、5 高須、19 笛木、*平井、54 斉藤、54 谷口、14 狩野、**片瀬、29 松本、5 諸角、9 鈴木撮影：30 笹倉、（遅れて入山：12 榎本）
注記）＊9 期・鈴木の高校時代の友人
　　**5 期・諸角の大学同期

10 月 8 日（土）～11 日（火）、秋の小屋行事を行いました。参加者は 5 期～54 期まで、現役 2 名、OB の友人 2 名を含めて、14 名が、天候にもめぐまれ、秋の妙高を楽しみました。

9 日（日）は、夢見平の散策。乙見湖（笹ヶ峰ダム湖）休憩舎の駐車場に車を置き、近くのイベント用テントで遊歩道の案内をしている「夢見平遊歩道を守る会」の説明などを聞き、さらに無料のガイド 2 名と同行することになりました。短いコース（ウサギコース）3 名、長いコース（ウサギコース＋キツネコース）8 名。長いコースでは、乙見湖、階段、蓑の池、稲荷神社、御神木（神彦・道姫）、天仁橋、夫婦泉、コラショ坂、信平橋、桂の大木（地蔵桂）、製材所跡（ここでお弁当）、氷沢神社、ブナとミズナラの合体木、炭焼窯跡、ハルニレの木、六美展望台（位置が移動）、しょうぶ池、夢見平、白樺通り、ズミトンネル、富治橋、小鳥の森、ヨイショ坂などを経て、乙見湖に戻ってきました。ゆっくり、じっくりのペースでした。守る会の畑山富治様の説明もあり、この遊歩道はじめ妙高一帯のいろいろなことを知ることができました。なお、コース中に架かっている富治橋の名は畑山さんのお名前をとったそうです。

薪作りに挑戦！

横山さん 佐藤主将 谷口さん

山小屋整備は、8～11 日全体を通して、太陽光パネル増設、棚作り、便槽汲取り、プロパンガスボンベ搬入などです。汲取りなど、現役にもやってもらいました。更に最終日には、シンボルツリーの一つである、「シナノ木」の枝落としをして、太陽光パネル集光効果向上の対策実施も行いました。山小屋のゴボウが収穫され、参加者が新ゴボウを美味しく頂きました。

ブナの実とトチの実を小屋の庭に植え（蒔き）ました。出てきたら、きちんと植え直しましょう。小屋建設 40 周年記念樹のヤマザクラは、3 本が健在です。キノコ、ヤマブドウなど低調でしたが、サルナシ（少し）、そしてブナの実（炒るだけです！）をおいしくいただきました。

雪囲いの取付

11 月 5 日（土）、6 日（日）に、小屋閉めを行いました。参加者は、現役の 3 名（佐藤主将、谷口さん、横山さん）と、山小屋常連のベテラン松本さん（29 期）、笹倉さん（30 期）と友人の米山さんの 6 名でした。作業は、雪囲いの取付、水道撤収、水汲み、灯油・豆炭・LP ガス補給などを行い、冬の準備が整いました。

11 月 21 日（月）雪を迎えた小屋

今後の小屋行事の予定

2012 年

1 月 21 日（土）、22 日（日） 第一回雪下ろし

2 月 18 日（土）、19 日（日） 第二回雪下ろし

3 月 17 日（土）、18 日（日） 第三回雪下ろし

＆春の小屋行事（春スキー、スノーシュー散策）

（？～20 日（火））

（5 月連休 小屋入りは個別！プレ小屋開け）

6 月 2 日（土）、3 日（日） 小屋開け&山菜採り他

7 月 14 日（土）～16 日（月） 夏の小屋行事 その 1

（草刈り、小屋山行・・）

8 月 11 日（土）、12 日（日）（13、14・・）

夏の小屋行事 その 2（小屋整備他）

（9 月の 3 連休 15 日（土）～17 日（月）は、

必要に応じて！）

10 月 6 日（土）～8 日（月） 秋の小屋行事

（きのこ採り、小屋山行・周辺散策 ＆ 小屋整備）

11 月 3 日（土）～4 日（日） 小屋閉め

■ 編集委員からのお知らせ

◎編集委員長・編集委員が交代しました。

編集委員長・・・・下村（10 期）→ 石垣（20 期）

編集委員・・・・・松本（ 8 期）→ 成島（22 期）

会員の皆さまには日頃より OB 会報作成に多大なご支援を頂きましてありがとうございます。

今号から、新役員からのお届けとなります。今まで同様ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

まるで銭湯の壁絵のような
精進湖畔の湯船からの富士山

編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。
自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。
宛先　　石垣（20 期）
　　成島（22 期）

YWVOB 会会報第 49 号

発　　行：横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会
発　行　日：2011 年 12 月 30 日
発行責任者：鈴木(9)
編集責任者：編集委員長 石垣(20)
編　　集：編集委員 成島(22)
印　刷　所：株式会社 カワチヤ･プリント (東京都港区新橋 5-31-7)
編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。